

児童館等への ランドセル来館制度について



都城市こども部こども政策課

1. 児童館とは

(1) 児童館の目的

児童館は、健全な遊びを通して、こどもの心と身体の健康を増進し、情操をゆたかにすることを目的とする児童厚生施設です。

(2) 対象者

0歳から18歳まで

遊んだりくつろいだり、こどもが自由に過ごせる場所です。利用料は無料です!



(3) 開館時間

6月1日～9月30日（夏時間）	午前10時～午後6時
10月1日～翌年5月31日（冬時間）	午前10時～午後5時

(4) 休館日

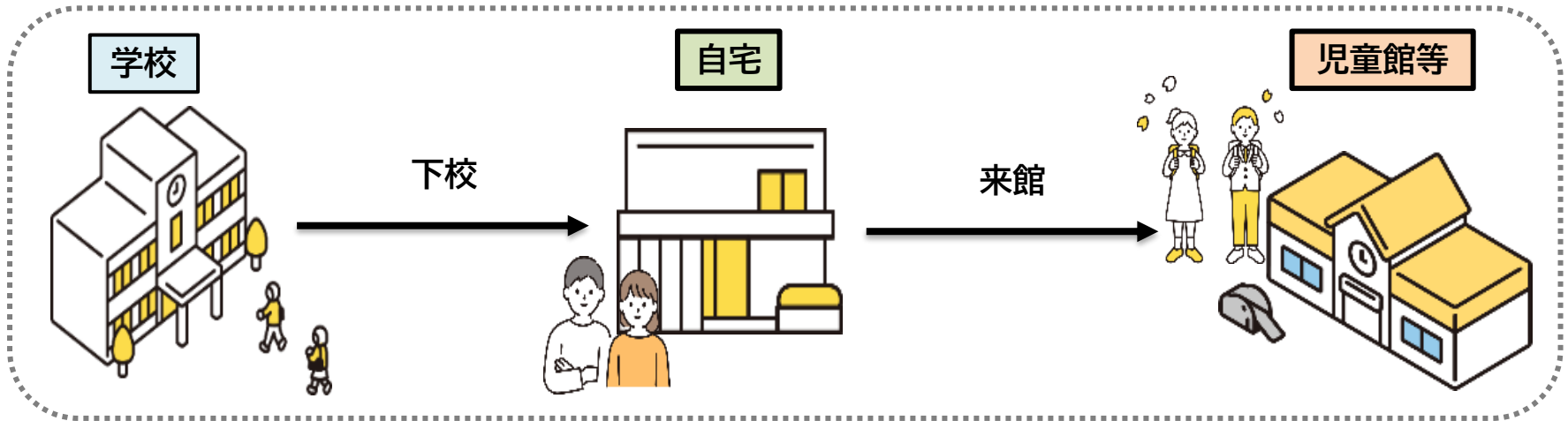
日曜日、祝日（こどもの日を除く）、年末年始

(5) 主な行事

七夕やクリスマス会など季節の行事を開催しています。

2. 児童館の利用

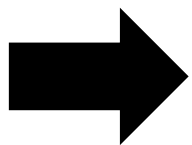
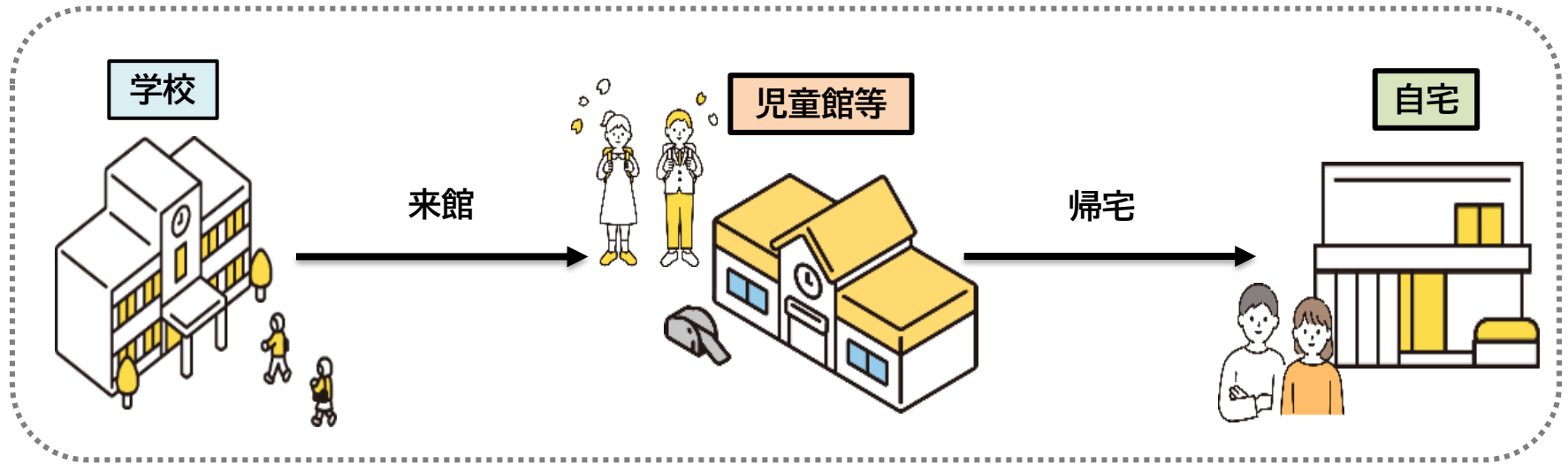
通常、こどもが学校開校日の放課後に児童館を利用する場合は、一度家に帰ってから利用することとなります。



一旦帰宅してから児童館へ行くと、遊ぶ時間が
短くなってしまう…

3. ランドセル来館とは

こどもが放課後にまとまった遊びの時間を確保できるように
下校後ランドセルを背負ったまま、学校から直接児童館等に
来館できる制度です。



ランドセル来館の利用に際しては
毎年度申請が必要です

3. ランドセル来館とは

対象者	各児童館が属する小学校区に在学している 小学１年生～６年生（※事前登録制）
利用できる日	小学校の開校日で給食のある 月曜日～金曜日
利用時間	午後１時～午後４時３０分
利用開始日	小学１年生　　： ９月から利用開始 小学２～６年生： ４月初旬から利用開始
利用料	無料

3. ランドセル来館とは

- 春休み・夏休み・冬休み等の長期休暇中は、ランドセル来館での利用はできません。
※通常利用はできます。
- ランドセル来館の利用日は自由に決められます。
(行きたい日に行くことができます)
- 午後4時30分には、児童館等の職員から帰宅に関する指導を行います。
(退館は利用時間内であればいつでも可能です)

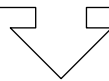


4. 利用の流れ

①児童と保護者でランドセル来館を利用する日を相談し、利用予定表に記入する。

(児童館等に着いたら・・・)

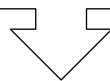
②児童館等に備えているランドセル来館名簿に名前等を記入する。



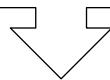
③ブレスレットキーホルダーをつける。



ブレスレットキーホルダー



④ランドセルなどの持ち物を所定の場所に置く。



(児童館等から帰るときは・・・)

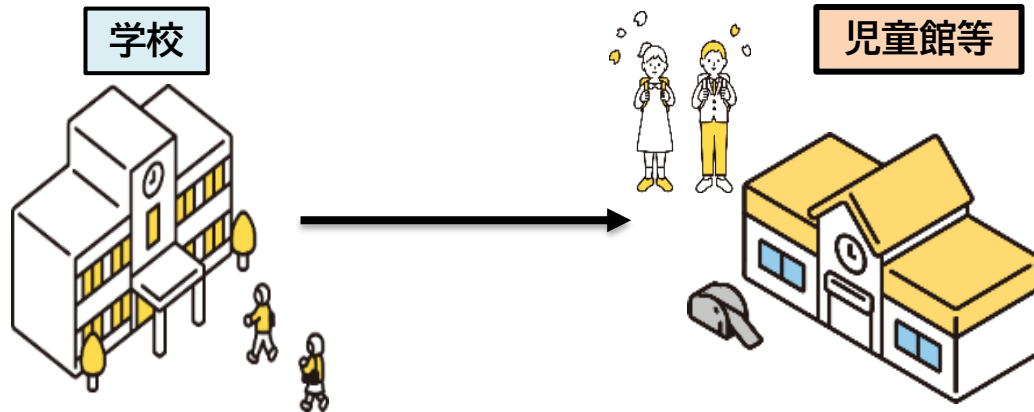
⑤ランドセル来館名簿に退館時刻を記入し、ブレスレットキーホルダーを返却する。

5. ランドセル来館利用時の主な留意点

- 放課後児童クラブとは異なり、こどもを預かる事業ではありません。児童の居場所の常時把握、飲食提供はありません。
- 放課後児童クラブに入会している児童は、ランドセル来館の利用はできません。
- 児童館等の職員は、登録児童の来館日の把握はしません。
- 利用時間(午後4時30分)以降の対応は、児童館等では行いません。また、児童館等から外に出た場合、児童館等は責任を負いません。利用時間内に館外に出たことが分かって、原則探すことはできません。
- 登録児童の利用において、長期で利用がない場合や、児童館等の運営に支障があると市又は児童館等が判断した場合は、登録解除となる場合があります。

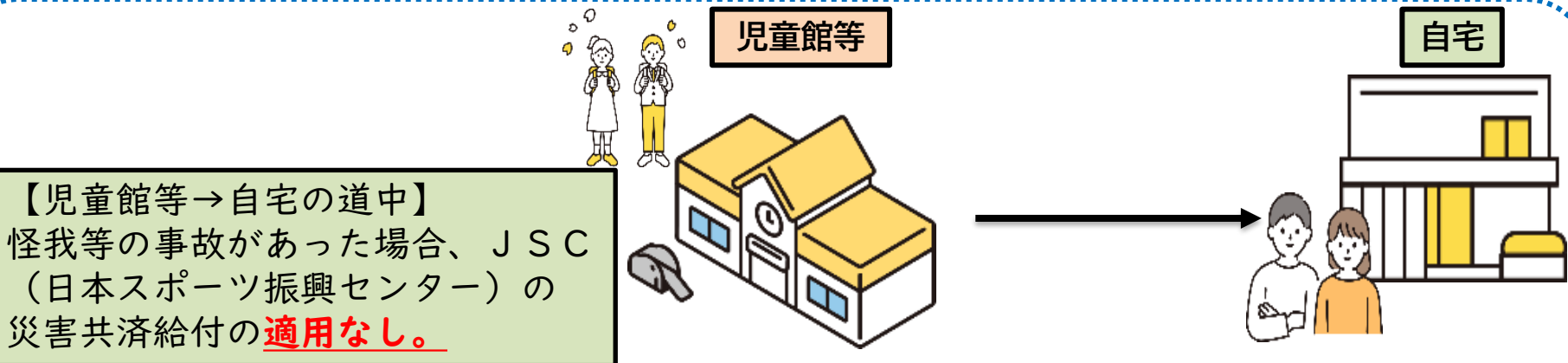


6. 道中の怪我等について



【学校→児童館等の道中】
怪我等の事故があった場合、JSC
（日本スポーツ振興センター）の
災害共済給付の**適用となる場合あり。**

※適用の可否は事例によります。



【児童館等→自宅の道中】
怪我等の事故があった場合、JSC
（日本スポーツ振興センター）の
災害共済給付の**適用なし。**

ランドセル来館の道中での怪我等について、本市は責任を負いません。
必要に応じて、保護者が保険に加入してください。

【JSCの災害共済給付制度とは】
JSCと学校等の設置者との契約により、学校等の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対して災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給）を行うもの。＜参照：災害共済給付請求ガイドブック＞

7. 対象児童館と対象小学校

今年度、ランドセル来館制度が実施される児童館等と対象小学校については、都城市HPを御確認ください。

通学している小学校区以外の児童館等でランドセル来館の利用はできませんので御注意ください。

都城市のHPも
あわせて御覧ください

